

SOLID STEEL DINER TABLE · HIGH DINER TABLE

Produced by **duende**®

この度は、当社の商品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

ご購入いただきました商品を末永く安全にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、必要に応じていつでもご確認できますように大切に保管して下さい。

商品の置き方

- 高温多湿の部屋での使用は避けてください。湿気による錆びの発生の原因になります。
- 製品は大変重量があります。設置の際には、必ず二人以上で引きずらずに持ち上げて設置してください。
- 商品は床面の平らな場所に水平になるように置いてください。水平でないところに置くと、製品の変形や歪み、ガタツキの原因になります。
- 床面が畳などの場合は 床面のキズ防止のために敷物などを敷いて使用してください。
- 直射日光や熱、冷暖房機の強風などが直接あたらないようにしてください。塗装表面の変色、製品の変形の原因になります。
- 移動の際は、乗せているものをおろし、必ず持ちあげて移動してください。引きずると床や製品にキズをつける恐れがあります。

使用上の注意

- 天板の端に重いモノを乗せたり、荷重をかけないでください。バランスを崩し、転倒したり、ケガなどの原因となることがあります。
- 製品の上に立ったり飛んだり、踏み台の代わりに使ったり腰かけたりしないでください。安定を崩し、倒れてケガをする事があります。
- 製品の上に灰皿や食器など、底のざらついた物を直接置いて引きずったりしないでください。天板にキズがつく恐れがあります。冷たい飲み物は、水滴が染みになるのを防ぐ為、コースターなどをご使用ください。

お手入れ方法

- 普段のお手入れは、はたきなどでホコリを落とした後、柔らかい布で乾拭きをしてください。
- 汚れのひどい時は、3~5%に薄めた中性洗剤を含ませた布で汚れを落とし、その後水に浸した布で洗剤分をよく拭き取ってください。次に乾いた布で、軽く拭いた後、自然乾燥させてください。

保守・点検

- 一週間ほどすると、固定したネジがなじんで参ります。さらに半分ほど締めつけの余裕が出てきますので、増し締めを行ってください。
- お客様による修理、及び改造はしないでください。商品の強度を弱め、破損やケガの原因となることがあります。
- 天板は揺れが無い時々点検をしてください。グラつきが出ていたら、ネジをしっかり締め付けてください。

耐荷重について

- 耐荷重は30kgまでです。天板にモノを常設する場合は、安全を考えてなるべく中央に、10kgまでとしてください。

机及びテーブルの品質表示

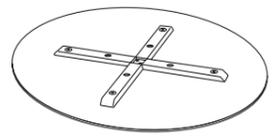
寸法	タイナーテーブルラウンド(スクエア) W700φ(600×600)×H700mm
	ハイダーナーテーブルラウンド(スクエア) W700φ(600×600)×H850mm
材質	スチール
表面加工	パウダーコーティング
取扱い上の注意	ストーブ等の熱を避けてください。
原産国	台湾
表示者	株式会社マークスインターナショナル 東京都渋谷区恵比寿西2-21-1

Components

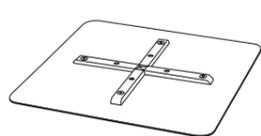
部材一覧

組み立てに入る前に、梱包物が揃っているかご確認ください。部材やパーツが不足していると、安全に組立ができません。必ずお確かめください。

※スチール部材は無垢材でとても重量があります。脚の上に落としてケガをしたり、床や他の家具などにキズを付けないよう十分ご注意ください。



天板 1枚



支柱 1



ベース 1セット



六角レンチ 1
※天板に付属



ネジ(長) 2 ネジ(短) 2 ネジ(最短) 8

Joint 組立方法

各パーツ、製品の重量が約23.31kgあるため、組み立ては必ず二人以上で行ってください。モルタルなどの硬い床の上で引きずると、本体にキズがついたり塗料が剥がれたり、床にキズをつける原因となりますので、厚手の布やカーペットの上で組立を行ってください。

1 天板に固定してある天板受けベースをネジをゆるめて取り外してください。
※このネジは組み立てには使用しませんが、予備として保管してください。

支柱をしっかり立て、天板受けベースをネジ(短)で固定してください。

最後は六角レンチの長いほうの端を持ち、しっかり締め付けてください。

2 上下をひっくり返し、支柱とベースをネジ(長)で固定します。図をよく見て組み立て、レンチの先をネジ穴にしっかり差し込んで、強く締めこんでください。

ネジが通る為の穴位置をよく確認して組み合わせてください。

3 ベースを固定したら、もう一度ひっくり返し、ネジ(最短)で天板を固定します。

天板受けベースに天板のナットを合わせます。

※天板の下にもぐりこむ際に、天板の淵に顔や頭をぶつけないようご注意ください。

すべてのネジは仮止めてゆるくねじ込んでください。

4 ネジは対角で締めていき、最後はしっかり締め付けてください。

床の凹凸にはアジャスターで高さ調整が可能です。